

#### (8) 効 果

社会教育担当者の現職教育として、合宿による長期研修の機会をもち、講義・研究討議等をとおして熱心な研究が行なわれた。

これによって、受講者の資質の向上と指導力の強化がはかられ、地方における社会教育の振興上大きな効果をあげ得たと思われる。

### 3. 社会教育委員研究協議会

#### (1) 目 的

社会教育委員の性格、任務および活動上の諸問題について研究協議を行ない、もって本県社会教育の振興に資する。

#### (2) 期日・会場・参加者数

41.7.13～14 県積慶寮 40名

#### (3) 講 師

国立磐梯青年の家事業課長 松沢 美作  
福島県教育庁社会教育課長 丹野 清栄

#### (4) 参 加 対 象 者

市町村社会教育委員

#### (5) 内 容

① 研究主題 社会教育委員の性格、任務および活動上の諸問題

#### ② 研究方法

- ア. 講義 社会教育の振興と社会教育委員の役割
- イ. 分科会協議会
  - 社会の変ぼうに即応する地域社会教育計画はどうあるべきか。
  - 成人教育の振興充実方策について
  - 成人教育の振興充実方策について

#### (6) 効 果

社会教育委員が社会教育の現状を具体的に検討し、社会教育委員の任務として、諮問的内容と指導内容について認識をさらに深め、市町村社会教育計画についても、じゅうぶん理解を強くしたので、今後の社会教育振興充実に、その活動が大いに期待される。

### 4. 社会教育研究協議会

#### (1) 目 的

社会教育関係者と社会教育に関する行政機関、団体関係者の参加を得て、相互の理解を深めるとともに、社会教育について、総合的な研究協議を行ない、もって社会教育の振興および地域の発展に寄与することを目的とする。

#### (2) 期日・会場・参加者数

期 日	会 場	参 加 者 数
41年 9月 8日～9日	下郷町公民館	140名
9月13日～14日	鏡石町公民館	200名
9月20日～21日	飯館村公民館	90名
10月27日～28日	東和町公民館	130名

#### (3) 講 師

福島大学教育学部長 平井 博  
同 教授 堀口 知明  
原町市立原町公民館長 宝玉 義信  
古殿町公民館長 渡辺 幹男

下郷町公民館長 弓田 四郎

東和町教育委員会教育次長 高野 与四郎

福島県教育庁社会教育課長 丹野 清栄

#### (4) 参 加 対 象

市町村長、市町村議會議長、市町村教育委員会教育長、社会教育委員ならびに関係職員

明るく正しい選挙、貯蓄推進、青少年問題、新生活運動、福祉関係ならびに商工会議所、商工会、農業協同組合、社会教育関係団体の関係者

#### (5) 内 容

##### ① 研究協議の主題

社会教育とこれに関連ある行政機関団体が行なう教育活動をどのように編成し推進したらよいか。

ア. 家庭教育の振興、青少年健全育成のための教育活動をどのように編成し推進したらよいか。

イ. 明るく正しい選挙のための教育活動をどのように編成し推進したらよいか。

ウ. 家庭生活の合理化のための教育活動をどのように編成し推進したらよいか。

##### ② 講 義

ア. 地域課題解決のための教育活動の推進について。

イ. わが市（町）の社会教育の推進について。

##### ③ 効 果

社会教育関係者と社会教育に関する行政機関、団体関係者が一堂に会し、それぞれが行なう教育活動をいつそう効果的にすすめるために、相互理解と協力体制の必要が認識され、各課題ごとにこれが具体的の方策について研究協議を行なったことは、今後の社会教育進展のうえに大きな示唆を与えた。

### 5. 総合社会教育研究指定市町村

#### (1) 目 的

社会教育と社会教育に関する他の行政機関、団体の相互理解を深め、緊密な連係のもとにそれが行なう教育活動を総合的・計画的に進めるための具体的方策について調査研究を行ない、これが実践をとおして、市町村社会教育の振興と地域社会の進展に寄与する。

#### (2) 研究指定市町村

管 内	指定市町村	管 内	指定市町村
信 伊 安 郡 岩 南 北 耶	吾 達 達 山 镜 下 会 会 麻	妻 露 本 镜 石 若 市	町 鎮 町 市 镇 町 町
夫 達 本 郡 石 相	山 宮 山 石 田 村	町 鎮 町 市 镇 町 町	沼 河 川 川 村 大 越 い わ き
靈 達 郡 鏡 下 鄉 双 葉 浪 飯	山 宮 山 石 田 村	西 東 白 白 川 田 村	柳 表 棚 古 大 駿 沖 飯
山 镜 石 田 相	市 市 町 町	白 白 川 川 村	津 郷 倉 殿 越 い わ き
瀬 镜 石 田 相	石 田 村	川 川 村	町 町 町 町 町
南 会 北 会 耶	下 鄉 双 葉 浪 飯	石 城 城 波 飯	津 會 江 飯
会 津 麻	市 市 町 町	い わ き	市 町 町

#### (3) 効 果

指定市町村の地域課題に応じ、それぞれに調査研究を行ない、昭和40年度の実績をもとにして、今年度は主として実践的研究を行ない、地域の熱意と協力によりその研究の実績をあげた。

### 6. みどり号の巡回